



上越市議会議員

宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

◆6月定例会（議会）のポイント

- 補正予算とその内訳など
- 所管事務調査ってなに？

◆宮崎朋子の 一般質問/委員会質問

◆地域の情報 ～上沼道、着々と～

◆議員活動奮闘記 ～スタイルそれぞれ～

Vol,5

発行月 2021年7月

所属

- 会派 創風
- 農政建設常任委員会
- 広報広聴委員会
- 新型コロナウイルス調査対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会
- 防災士議員連盟

地域の農業政策に
取り組みます！

市民と市議会
を結びます！

市民生活の安心
安全のために
尽力します。

力を合わせて、
解決へむけて
頑張ります！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「鮮緑～せんりょく～」
老いも若きも、瑞々しくと願いを込めて

事務所
〒943-0231 新潟県上越市三和区鴨井471

携帯 090-3545-6087

✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp



FAX 025-333-0424

みなさまのご意見
をお寄せください

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～スタイルそれぞれ～

私達は、新しい生活様式と次の扉へ向かっています。この度の議会でも、様々な角度からの質問が飛び交いました。そのスタイルは議員それぞれ。刑事ドラマで例えるならば、

- ①情で落とす人情派 ②押したり引いたり交渉派
- ③状況証拠で分析派 ④鋭い嗅覚の謎解き派など

など。ここに、議員の考え方や人となりが見えます。人情派はまだですが、私も挑戦しながら、自分スタイルを模索していきます！



活動記録（4/1～7/3）

- 市民活動団体への参加（5回）
- 議会通信発刊（4月/7月）
- セミナー受講（オンライン1回）
- 市民要望/公約/一般質問調査研究（農業・建設・福祉・産業・雇用・自治関係 16カ所）
- 各層との意見交換会（防災士会/市内経済団体青年部等）
- 市内団体総会（三和区振興会/上越商工会議所/三和商工会/直江津鉄道OB会）
- 地域協議会傍聴（三和区/清里区/牧区/中郷区/頸城区/吉川区/直江津地区/高土地区）
- 議員勉強会（春日山城址を中心とした支城群について）
- 総会（保倉川放水路整備促進議員連盟/日韓親善上越市議会議員連盟）
- 女性団体との懇談会（2回）
- 個人視察（板倉区のスマート農業/旧今井染物屋の手仕事体験施設/上越市鳥獣対策集落環境診断・金谷区滝寺）
- 委員会（広報広聴/農政建設/新型コロナウイルス調査対策特別委員会）
- 委員会傍聴（文教経済/厚生/総務）
- 上越市議会報告・意見交換会（安塚区）
- 保守系議員視察研修（上越火力発電所）
- 宮崎朋子後援会役員会議（6月）
- 6月定例会（6月7日～6月21日）
- 他



地域産業だったパテンレース

地域の情報

①上沼道、着々と！

平成6年より国、県で整備検討、計画がすすめられてきた「上越魚沼地域振興快速道路」。

その一部である、三和安塚道路（国道253号）では、令和元年3月の寺IC～鶴町ICの開通以降、着々とその進捗が見られます。

現在、トンネル部、高架橋を含む三和区内の工事が進められています。開通は浦川原、大島、安塚区の悲願でもあり、約30分で市街地へ、緊急時の時間短縮、冬期間の走行の安全性向上などが期待されています。

同時に、「この契機を活かそう！」と地域間交流の促進、産業振興の期待も膨らみます。全線開通には年月がかかりますが、議会としても工事の安全と速やかな進捗のために取り組んでまいります。



トンネルや高架橋、山を切り開いての工事（三和区内）



■ 6月補正後予算額 94,106,643,000円（一般会計）

6月補正予算額 377,935,000円

4月専決予算額 255,077,000円

■ 補正予算を何に使うの？

- ①令和3年に発生した道路や橋などの災害復旧工事や予防、調査
- ②屋根の雪下ろし作業の事故防止のための命綱やアンカー設置費用を補助する制度（克雪住宅推進費）
- ③今回の大雪で破損した公の観光施設、体育館などの修繕工事
- ④融雪の影響で地すべりが起きた農地、農業用施設、林業用施設等の地質調査や測量などの経費
- ⑤上越市議会議員補欠選挙費
- ⑥予備費（今後の不測の事態に備えて）など

（詳しくは、広報上越をご覧ください）

■ 所管事務調査ってなに？

しょかんじむちょうさ

所管事務調査とは、各委員会が年間に扱う課題やテーマのことです。みなさまのご意見が、こうした調査や課題解決に反映されていきます。

文教経済常任委員会
（教育/経済/観光など）

- ◆G I G A スクール構想
- ◆直江津・小木航路維持と広域観光
- ◆商業活性/産業政策全般（新産業振興他）

総務常任委員会
（財政/防災/自治など）

- ◆財務全般、防災、市民安全
- ◆住民自治、地域自治、地域協議会制度について
- ◆上越市 I C T（情報通信技術）による情報化推進基本方針

厚生常任委員会
（福祉/子育て/高齢者支援など）

- ◆新型コロナウイルス感染症対策
- ◆斎場整備、地域医療の推進
- ◆環境保全、生活環境（最終処分場等）

農政建設常任委員会
（農林水産業/建設など）

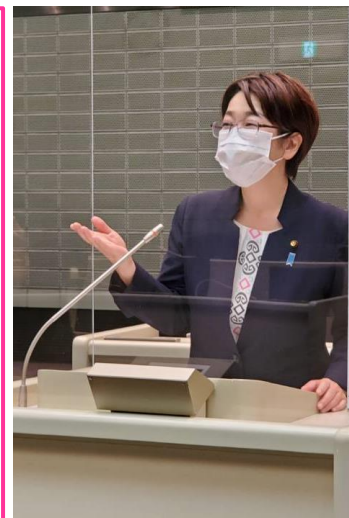
- ◆担い手育成とスマート農業推進
- ◆災害復旧、道路・雪対策
- ◆空き家対策
- ◆ガス水道関連事業



その他、市民への広報活動全般に取り組む*広報広聴委員会、そして期間限定的、緊急性の高い課題を扱う特別委員会があり、現在は ①新型コロナウイルス調査対策特別委員会 ②人口減少対策特別委員会 ③防災が活動しています。

市民のみなさまに、特に関係する項目を独自に選んで記載しています。
詳しくは、上越市HPをどうぞ→ <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎朋子の一一般質問



この度は、自身の公約から関連する市の事業に着目。また、大雪災害から半年、皆様からのご意見をもとに質問を組み立てました。議場では、パネルを用いて、わかりやすい討論を心掛けました。

1【若手社員定着支援事業の取組と課題、方向性は？】

答 若手、中堅、管理職向けの講座を中心、6年間取り組んでいる。ベネッセの参加があり、離職率低下にも効果があつた。離職対策としてインターンシップによる、就職前の仕事の確認や職場の環境整備が重要と考える。

2【大雪災害等に備えるため、農業版BCPの周知と活用は？】

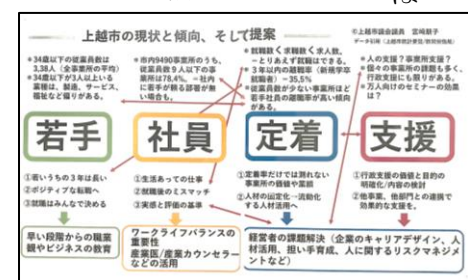
答 B C P（事業継続計画）は、本年1月に農林省が策定した。これは、従来、リスト形式になっており、従事者が日々見直し確認していただくもの。災害被害防止や被災後の事業継続の観点から重要と考える。関係各所と周知徹底していく。

問 ①幼少期からビジネスや経済を学ぶ機会を提供する企業や団体への支援。

答 ①は公平性があれば事業周知もできる。②は今後も無料の労働相談も紹介していく。③は関係各所と検討していきたい。

問 予算はいつも百万前後。効果は出るのか？

答 回数や内容的には少ないと思う。大事なことは効果的な内容の検討だと考える。



6/8 【農政建設常任委員会】

宮崎の質問した事業（抜粋）
* 牧区、清里区等の農地、農業用施設災害復旧費について
* 克雪住宅推進費の周知、実施内容等について

答 これからの時代、機械除雪も含め色々な視点での議論が必要とされている。行政として、災害時には今後も敏速な対応をしていく。

問 問題は何か？こうした声が上がるといふこと。コロナ禍で特にサービス業、飲食業は厳しい状況。市はどう考えるか？

答 将来的にはあるかもしれないが、今のところは考えていない。

問 今後は環境に配慮した融雪資材や設備に関しての補助制度を望むがどうか？

答 この度の皆様の除排雪協力には、心より感謝している。駐車場等は自己の所有物、公平性という観点から支援は難しいと考える。